

脚本のポイント A



A-1

* 脚本とは…物語の場面の様子が書いてあり、場面ごとの登場人物の出入り、動き、セリフが書いてあるもの。

自分たちのやりたい作品を選ぼう

人形劇だけの問題ではないけど、お芝居を観て何が面白いかというと『出演者たちが楽しんでるな』というのが一番。観ているほうも楽しい気分になってくる。もうひとつ言うと、登場人物たちが生き生きと目の前の舞台でやりとりしていること。『台本通り動き、しゃべってるな』

というのからもう一步進んで『本当にその場で生きているな』という登場人物を作り出すこと。そのためには、『この話が好き』『この役がやってみたい』『この場面を舞台で表現してみたい』など、自分たちのイメージがどんどん湧いてくるような作品を選ぶことが大事。



脚本集から選ぶ

図書館などにある脚本集の本から面白そうな作品を探す。
これまでに上演された脚本から探す。

絵本などの「原作を」選び、脚色する

その作品の一番気に入ったところを活かせる形に脚本にしてみよう。
登場人物が何を思い、どんな体験をしたのかをおさえよう。

作者に連絡を
とって上演の許
可をもらいまし
ょう。

オリジナルを作る

物語を考えるのが好きな人、または『こんな劇をつくってみたい』という強烈な思いをもってる人は是非オリジナルの脚本を作ってみよう。

ひとつのやり方として、演出家（監督）または脚本家がキャラクターと場面（シチュエーション）だけ細かく指定して、あとは役者たちがアドリブでその場面を演じてみる、ということをくり返してみて、思いがけず出た面白いセリフ、人間関係をどんどん書きとめて脚本にしていくという方法もある。